

農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センター  
千原フィールドにおける新型コロナウイルス感染症対策

2020.4.6

(千原フィールド会議にて)

新年度となり、新入生や転勤など人の移動に伴い新型コロナウイルスのリスクが高くなっている。もし、千原フィールド関係者（職員・学生・家族等）に感染者が出た場合、センター教職員は全員が濃厚接触者となる可能性も高い。その場合、自宅待機者が多数となりセンターの運営に支障をきたす。これを避けるため、今後1か月（4月中）程度は、業務を遂行しながらも各々が濃厚接触とならないよう対策を講じ、また、感染防止のため、以下のことを徹底して実践する。

記

- ・事務所に集合しない。着替えなどが済んだら各グループの場所を中心に業務を行う。
- ・月曜の技術職員ミーティングは格納庫前で行う（必要な人員で）。
- ・終日マスクを着用する。
- ・センター本館3か所の出入口にアルコール消毒液を置き、入館の際は手を消毒する。
- ・業務等の際に車の同乗はしない。
- ・車のハンドルなど複数の人が触るものはアルコールで消毒し使用する。
- ・業務調整等は電話やメールを使用する。会話の際はマスクを着用し2mの間隔を開ける。
- ・生産物販売はFAX等による学内販売とし、ウェルカムプラザでの相対販売は中止する。
- ・出勤前に自宅で検温し発熱していないことを確認する。
- ・風邪の症状（熱、咳、喉の痛み）、強いだるさがある場合は出勤せず、連絡し様子を見る。
- ・疲れがあるときも無理に出勤しない（休んで体力の回復を図る）。
- ・繁華街などへの外出は極力控える。
- ・手洗いを励行する。
- ・センター（千原フィールド）への来客は極力断り、また、来場しないよう協力を求める。
- ・不意の来場者は事務室へ入室させず、窓越しに対応するか電話で対応する（入口へ張り紙）。
- ・農林共生学コース学生は卒論等の実験（作業）は可能とするが、必ずマスクを着用する。
- ・千原フィールドへ出入りする学生も職員と同様の感染症対策を実行してもらう。
- ・学生を研究室等へ長居させない。

以上